



2020年3月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2020年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社
コード番号 8096 URL <http://www.kel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 亮

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 岡崎 恭弘

TEL 03-5250-6823

定時株主総会開催予定日 2020年6月19日

配当支払開始予定日

2020年6月3日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	71,961	6.8	10,933	8.5	10,999	8.6	7,387	9.6
2019年3月期	67,396	8.3	10,074	5.6	10,125	5.1	6,739	3.8

(注) 包括利益 2020年3月期 7,353百万円 (5.9%) 2019年3月期 6,940百万円 (4.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	258.33	—	14.5	15.7	15.2
2019年3月期	235.66	—	14.2	15.3	14.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	71,791	52,914	73.6	1,848.56
2019年3月期	68,170	49,422	72.4	1,726.33

(参考) 自己資本 2020年3月期 52,863百万円 2019年3月期 49,369百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	6,538	△1,472	△3,861	43,010
2019年3月期	7,719	△542	△3,442	41,811

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	55.00	—	70.00	125.00	3,574	53.0	7.5
2020年3月期	—	65.00	—	70.00	135.00	3,860	52.3	7.6
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年 3月期の連結業績予想 (2020年 4月 1日～2021年 3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による企業活動への影響が不確定であるため、現時点では未定としております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で開示することいたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	28,633,952 株	2019年3月期	28,633,952 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	36,532 株	2019年3月期	36,245 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	28,597,538 株	2019年3月期	28,597,801 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	62,445	5.9	7,072	9.4	8,328	7.4	6,045	7.2
2019年3月期	58,969	9.3	6,462	10.0	7,753	10.9	5,640	9.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	211.39	—
2019年3月期	197.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	60,386	44,107	73.0	1,542.35
2019年3月期	57,682	41,916	72.7	1,465.74

(参考) 自己資本 2020年3月期 44,107百万円 2019年3月期 41,916百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、長引く米中の通商問題を巡る動向や、国内外において拡大の様相を呈する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響などにより、景気の先行きは一層不透明感を増しております。

国内IT業界におきましては、デジタルトランスフォーメーションをキーワードとして、戦略的なIT投資に対する需要の高まりに加え、働き方改革を契機とした業務効率化を目的とするシステム投資が増加傾向にあることなどから、事業環境は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」などのソリューションビジネスに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革の一環として堅調な仮想デスクトップ（VDI）環境の構築や企業内のデータ量の増大に伴い設備投資が旺盛なストレージ基盤の構築ビジネスに加え、サービス提供型ビジネスの拡充などにも注力しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、719億6千1百万円となり、前年同期比45億6千5百万円（前年同期比6.8%増）の増収となりました。営業利益は、109億3千3百万円となり、前年同期比8億5千8百万円（前年同期比8.5%増）の増益、経常利益は、109億9千9百万円となり、前年同期比8億7千3百万円（前年同期比8.6%増）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は、73億8千7百万円となり、前年同期比6億4千8百万円（前年同期比9.6%増）の増益となりました。

セグメントの状況

（システム事業）

システム事業の売上高は、521億3百万円となり、製造業や流通業向けのサーバー関連事業、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、前年同期比34億5千1百万円（前年同期比7.1%増）の増収、営業利益は、71億5千2百万円となり、前年同期比9億5千1百万円（前年同期比15.3%増）の増益となりました。

（サービス・サポート事業）

サービス・サポート事業の売上高は、198億5千8百万円となり、サーバー関連の保守契約売上や、システム構築案件に伴う作業代収入などの増加により、前年同期比11億1千4百万円（前年同期比5.9%増）の増収、営業利益は、技術センター移転による一過性の費用増加などもあり38億2千2百万円、前年同期比6千5百万円（前年同期比1.7%減）の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%増加し、657億4千万円となりました。これは、現金及び預金が11億9千9百万円、たな卸資産が5億6千7百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて26.6%増加し、60億5千万円となりました。これは、建物及び構築物が8億2千8百万円増加したことなどによります。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、165億9千4百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億1千4百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.1%増加し、22億8千1百万円となりました。これは、資産除去債務が4億9百万円増加したことなどによります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて7.1%増加し、529億1千4百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益73億8千7百万円の計上および配当金38億6千万円の支払いにより、利益剰余金が35億2千6百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.4%から73.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」）は430億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ11億9千9百万円（2.9%）の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、法人税等の支払額が36億4千7百万円発生したものの、税金等調整前当期純利益が109億9千万円あったことなどにより、65億3千8百万円の資金の獲得となりました。税金等調整前当期純利益が101億7百万円あった前年同期（77億1千9百万円の資金の獲得）に比べ、たな卸資産の増減額が6億8千4百万円増加したことにより、資金の獲得額が11億8千1百万円減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、差入保証金の回収による収入が7千4百万円あったものの有形及び無形固定資産の取得による支出が13億8千万円あったことなどにより、14億7千2百万円の資金の使用となりました。有形及び無形固定資産の取得による支出が4億3千3百万円あった前年同期（5億4千2百万円の資金の使用）に比べ、資金の使用額が9億3千万円増加しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払いを38億6千万円実施したことなどにより、38億6千1百万円の資金の使用となりました。配当金の支払額が34億3千1百万円であった前年同期（34億4千2百万円の資金の使用）に比べ、資金の使用額が4億1千8百万円増加しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第48期 2016年3月期	第49期 2017年3月期	第50期 2018年3月期	第51期 2019年3月期	第52期 2020年3月期
自己資本比率 (%)	69.8	68.5	71.9	72.4	73.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	97.8	132.6	139.7	140.3	135.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1.0	0.4	0.2	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	665.9	4,883.5	13,760.0	16,089.3	18,122.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。
 3 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
 4 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。
 5 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

国内経済は、長引く米中の通商問題や、国内外において拡大および長期化の様相を呈する新型コロナウイルス感染症の影響などにより、先行きは不透明な状況が継続するものと予想されます。

I T市場におきましては、デジタルトランスフォーメーションをキーワードとして、戦略的なI T投資の高まりに加え、働き方改革の推進、新型コロナウイルス感染症の対策として、在宅勤務などのリモートワークを導入する企業が増加することなどにより、潜在的な需要は増加するものと予想されます。

このような環境の中、当社グループは強固な顧客基盤と技術力に裏打ちされたマルチベンダーとしての強みを活かし、これまで同様、お客様に最適な環境を提案し、I Tインフラ基盤の設計、構築から保守、運用まで一貫したサービスをワンストップで提供し、こうした需要の増加に応えていきたいと考えています。

しかしながら、2021年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による企業活動への影響が懸念され、足元では新規の商談が進められないというケースも散見されます。従って、現時点では計数的な予測が困難な状況にあり、次期の見通しは「未定」としております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で開示することといたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主の皆様への利益還元につきましては、長期的な企業成長の基盤強化に努め、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針としております。

この方針に基づき、2020年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり70円を予定しております。また、2019年12月に中間配当金として65円の配当を実施しておりますので、当期の年間配当金は135円（連結配当性向52.3%）となる予定です。

なお、期末配当金は、2020年5月20日開催予定の取締役会において正式に決定する予定です。

次期の配当金につきましては、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針とし、中期経営計画での配当方針である「配当性向50%以上」を継続する予定ですが、業績予想を精査中のため、現時点では未定としております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で開示することといたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社および連結子会社の事業は現在日本国内中心であることから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のI F R S（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、I F R S適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,811,306	43,010,322
受取手形及び売掛金	16,376,070	16,832,325
リース投資資産	19,825	14,538
たな卸資産	1,549,373	2,117,047
その他	3,636,107	3,766,087
流動資産合計	63,392,683	65,740,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	359,311	1,187,523
その他（純額）	881,816	926,190
有形固定資産合計	1,241,128	2,113,714
無形固定資産		
その他	366,754	759,759
無形固定資産合計	366,754	759,759
投資その他の資産		
投資有価証券	810,974	849,597
繰延税金資産	1,350,368	1,380,970
その他	1,016,184	954,834
貸倒引当金	△7,782	△8,124
投資その他の資産合計	3,169,744	3,177,278
固定資産合計	4,777,627	6,050,752
資産合計	68,170,311	71,791,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,789,199	7,575,078
未払法人税等	1,954,656	1,930,689
前受収益	3,283,215	3,195,571
賞与引当金	1,066,092	1,180,934
役員賞与引当金	222,360	175,631
その他	2,432,470	2,537,047
流動負債合計	16,747,994	16,594,952
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,646	—
退職給付に係る負債	1,691,200	1,655,597
資産除去債務	177,587	586,971
その他	116,088	38,612
固定負債合計	1,999,523	2,281,181
負債合計	18,747,517	18,876,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,112,350	7,112,350
利益剰余金	32,753,825	36,280,689
自己株式	△31,125	△32,045
株主資本合計	48,866,308	52,392,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,708	179,401
繰延ヘッジ損益	△7	△334
為替換算調整勘定	79,952	74,762
退職給付に係る調整累計額	250,159	217,861
その他の包括利益累計額合計	502,813	471,691
非支配株主持分	53,672	50,996
純資産合計	49,422,793	52,914,939
負債純資産合計	68,170,311	71,791,073

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	67,396,269	71,961,712
売上原価	48,303,682	51,477,104
売上総利益	19,092,586	20,484,607
販売費及び一般管理費	9,017,605	9,550,791
営業利益	10,074,980	10,933,816
営業外収益		
受取利息	5,759	5,713
受取配当金	9,884	14,400
助成金収入	6,723	13,375
雑収入	32,629	36,472
営業外収益合計	54,995	69,962
営業外費用		
支払利息	479	360
雑支出	4,181	4,231
営業外費用合計	4,661	4,592
経常利益	10,125,315	10,999,186
特別利益		
固定資産売却益	679	1,354
投資有価証券売却益	—	960
ゴルフ会員権売却益	—	306
特別利益合計	679	2,621
特別損失		
固定資産除却損	16,595	4,009
固定資産売却損	—	4,130
投資有価証券評価損	—	3,539
ゴルフ会員権売却損	2,185	—
特別損失合計	18,780	11,678
税金等調整前当期純利益	10,107,214	10,990,128
法人税、住民税及び事業税	3,417,665	3,619,669
法人税等調整額	△53,747	△16,696
法人税等合計	3,363,917	3,602,973
当期純利益	6,743,297	7,387,155
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	3,851	△388
親会社株主に帰属する当期純利益	6,739,446	7,387,543

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	6,743,297	7,387,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,383	6,692
繰延ヘッジ損益	20	△326
為替換算調整勘定	△4,607	△7,477
退職給付に係る調整額	286,517	△32,297
その他の包括利益合計	197,547	△33,409
包括利益	6,940,844	7,353,746
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,935,645	7,356,421
非支配株主に係る包括利益	5,199	△2,675

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,031,257	7,112,350	29,446,125	△30,007	45,559,726
当期変動額					
剰余金の配当			△3,431,746		△3,431,746
親会社株主に帰属する当期純利益			6,739,446		6,739,446
自己株式の取得				△1,118	△1,118
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			3,307,700	△1,118	3,306,581
当期末残高	9,031,257	7,112,350	32,753,825	△31,125	48,866,308

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	257,092	△28	85,908	△36,357	306,614	48,472	45,914,813
当期変動額							
剰余金の配当							△3,431,746
親会社株主に帰属する当期純利益							6,739,446
自己株式の取得							△1,118
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△84,383	20	△5,955	286,517	196,198	5,199	201,398
当期変動額合計	△84,383	20	△5,955	286,517	196,198	5,199	3,507,980
当期末残高	172,708	△7	79,952	250,159	502,813	53,672	49,422,793

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,031,257	7,112,350	32,753,825	△31,125	48,866,308
当期変動額					
剰余金の配当			△3,860,679		△3,860,679
親会社株主に帰属する当期純利益			7,387,543		7,387,543
自己株式の取得				△920	△920
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計			3,526,864	△920	3,525,943
当期末残高	9,031,257	7,112,350	36,280,689	△32,045	52,392,252

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他の 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	172,708	△7	79,952	250,159	502,813	53,672	49,422,793
当期変動額							
剰余金の配当							△3,860,679
親会社株主に帰属する当期純利益							7,387,543
自己株式の取得							△920
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	6,692	△326	△5,189	△32,297	△31,121	△2,675	△33,797
当期変動額合計	6,692	△326	△5,189	△32,297	△31,121	△2,675	3,492,146
当期末残高	179,401	△334	74,762	217,861	471,691	50,996	52,914,939

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,107,214	10,990,128
減価償却費	524,256	589,619
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,040	114,842
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28,170	△44,668
受取利息及び受取配当金	△15,643	△20,114
支払利息	479	360
固定資産売却損益 (△は益)	△679	2,775
固定資産除却損	16,595	4,009
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	2,185	△306
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△960
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,539
売上債権の増減額 (△は増加)	△744,431	△459,285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	116,532	△567,945
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△154,473	△128,648
仕入債務の増減額 (△は減少)	342,444	△289,127
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	584,122	59,701
その他	63,278	△87,720
小計	10,818,750	10,166,197
利息及び配当金の受取額	15,661	20,131
利息の支払額	△479	△360
法人税等の支払額	△3,114,214	△3,647,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,719,717	6,538,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△260	△32,529
投資有価証券の売却による収入	—	48,960
有形及び無形固定資産の取得による支出	△433,062	△1,380,665
有形及び無形固定資産の売却による収入	680	3,284
差入保証金の差入による支出	△230,083	△55,027
差入保証金の回収による収入	124,467	74,762
資産除去債務の履行による支出	—	△131,110
貸付けによる支出	△427	—
貸付金の回収による収入	1,218	294
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,561	△2,304
その他	△126	1,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△542,155	△1,472,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,431,746	△3,860,679
その他	△10,890	△920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,442,637	△3,861,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,853	△4,991
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,729,071	1,199,015
現金及び現金同等物の期首残高	38,082,235	41,811,306
現金及び現金同等物の期末残高	41,811,306	43,010,322

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、電子情報処理関連機器の国内取引を主要業務とし、総合情報システムの提案、システムインテグレーション、ネットワークインテグレーション、ソフトウェア開発等を行う「システム事業」および運用管理サービス、アウトソーシングサービス、システムの保守サービスを行う「サービス・サポート事業」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場価格に基づいております。

なお、当社グループは、内部管理上、報告セグメントに資産を配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	48,651,940	18,744,328	67,396,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	238,251	459,981	698,233
計	48,890,191	19,204,310	68,094,502
セグメント利益	6,200,963	3,887,421	10,088,384
その他の項目			
減価償却費	248,299	275,956	524,256

(注) 資産については、報告セグメントに配分された資産がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	52,103,126	19,858,585	71,961,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109,830	637,243	747,073
計	52,212,956	20,495,829	72,708,785
セグメント利益	7,152,126	3,822,338	10,974,465
その他の項目			
減価償却費	274,886	299,616	574,503

(注) 資産については、報告セグメントに配分された資産がないため、記載しておりません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

売上高	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
報告セグメント計	68,094,502	72,708,785
セグメント間取引消去	△698,233	△747,073
連結財務諸表の売上高	67,396,269	71,961,712

利益	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
報告セグメント計	10,088,384	10,974,465
セグメント間取引消去	△13,403	△40,648
連結財務諸表の営業利益	10,074,980	10,933,816

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,726.33円	1,848.56円
1株当たり当期純利益金額	235.66円	258.33円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	6,739,446	7,387,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	6,739,446	7,387,543
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,597	28,597

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	49,422,793	52,914,939
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	53,672	50,996
(うち非支配株主持分(千円))	(53,672)	(50,996)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	49,369,121	52,863,943
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	28,597	28,597

(重要な後発事象)

該当事項はありません。